

お客様各位

カタログ等資料中の旧社名の扱いについて

2010年4月1日を以ってNECエレクトロニクス株式会社及び株式会社ルネサステクノロジが合併し、両社の全ての事業が当社に承継されております。従いまして、本資料中には旧社名での表記が残っておりますが、当社の資料として有効ですので、ご理解の程宜しくお願ひ申し上げます。

ルネサスエレクトロニクス ホームページ (<http://www.renesas.com>)

2010年4月1日

ルネサスエレクトロニクス株式会社

【発行】ルネサスエレクトロニクス株式会社 (<http://www.renesas.com>)

【問い合わせ先】 <http://japan.renesas.com/inquiry>

MESC TECHNICAL NEWS

No. M7700-127-0002

7920グループ DRAMC, DMAC使用時の注意事項 (2)

1. 対象品種

7920グループ全品種

2. DRAMCの注意事項 (1)

DRAMCをご使用の際には、ホールド機能を使用しないでください。

DRAMC使用時は、HOLD入力, HLDA出力選択ビット (5F₁₆番地のビット5) を“0”にしてください。

3. DRAMCの注意事項 (2)

DRAMCの高速ページアクセスを使用しないでください。

アクセスモード選択ビット (A8₁₆番地のビット2) を“0”に固定してください。

4. DMACの注意事項

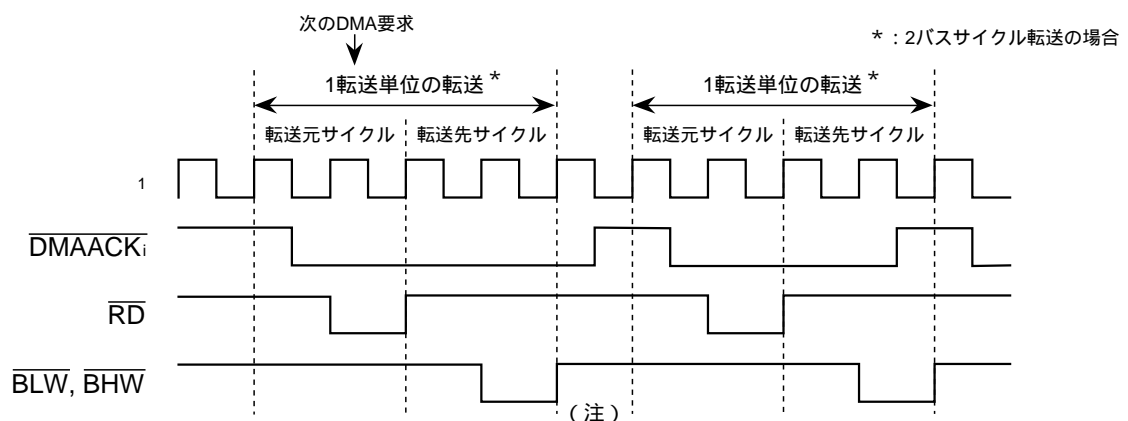
サイクルスチール転送モードで次の条件のときには、転送中に次のDMA要求が来ても、連続転送ができません。

- ・1バスサイクル転送で、0ウェイトのとき
- ・2バスサイクル転送で、転送先が0ウェイト (内部領域を含む) のとき

すなわち、上記の条件のときには、1転送単位の転送後、一旦DMA転送を終了し、その次のバス要求サンプリング時に、再度DMA転送を行います。

この注意は、転送要求が同一チャンネルの場合も、他のチャンネルの場合も該当します。

なお、同一チャンネルの場合は、従来からお知らせしている通り、DMA要求が無効になるタイミングがあります (テクニカルニュースNo.M7700-129-0002参照)。



注：図は最短の場合です。CPUがバスを使用する場合は、その期間分、次のDMA転送が遅れます。